



三鈷松だより

令和7年度 第1号
令和7年4月8日発行
児童数 69名

さかえ小の新しい未来に向かう一年

校長 坂本 信之

今年の桜は4月始めの雨にも負けずにいつも以上に咲き誇り、令和7年度のスタートをお祝いするかのよう、4月8日に満開を迎えております。新しい一年を頑張ろうと元気に登校してきたさかえっ子にとって、最高のエールとなっているようです。

昨年度に引き続き、今年度もさかえ小学校でお世話になります校長の坂本信之でございます。昨年4月にこちらの三鈷松だよりにおいて、保護者の皆さま・地域の皆さまとともに子供たちの健やかな成長のために努めてまいりたい、と述べさせていただきました。多くの皆さまと出会い、たくさんのお力添えを賜りながら、さかえっ子の成長を共に支えていただき、本当にありがとうございました。昨年度に引き続きまして、今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和7年度のさかえ小学校は、8名の新生を迎え、全校児童69名でスタートします。一人一人のよさをぐんぐん伸ばしていけるよう、27名の教職員が一丸となって教育活動を進めてまいります。なお、児童数減少に伴い、学級編制上の法律に基づき、今年度は3年生と4年生の2学年が1学級となる「複式学級」が設置されます。3・4年生の子供たちが持っている学びへの意欲を大切にしながら学習活動を展開できるよう、多くの教員が指導にあたってまいります。もちろん、他学年につきましても、同様に指導にあたってまいります。

さて、今年度本校が掲げるめざす学校像は、「夢をはぐくみ、夢をかなえ、夢を広げるさかえ小～地域に根ざし、ICTの善き使い手を育て、新しい時代を切り拓く学校～」でございます。令和5年度から文部科学省事業の「教育リーディングDXスクール」の指定校として、1人1台のタブレット端末を様々な教育活動で活かしてまいりました。昨年度は、子供たちが積極的に使いこなし、授業はもちろん様々な教育活動で活用してきました。3年目を迎える「教育リーディングDXスクール」指定校として、さかえっ子がICTを使いこなすだけでなく、相手意識を大切にしながらICTを活用できる「善き使い手」として成長し、変化の激しい社会を生きぬく力を持つことができるよう、努めてまいる所存です。

また、令和7年度は、本校にとってもう一つ重要な年でもあります。すでにご案内のとおり、令和8年度末にさかえ小としての歴史の幕を閉じ、新しい未来に向かうことが決まっております。令和7年度はその一步を踏み出し、栄第一小学校及び栄第二小学校から続く伝統あるさかえ小学校の益々の発展の為に尽くしていく、大切な一年だと考えております。**“二年後に終わり”ではなく“二年後から新しい未来が始まる”**という気概を全教職員が持ちながら、一日一日の教育活動に取り組んでまいります。

右の写真は、令和7年4月4日に撮影しました。前日までの雨によって、青空がさらに青さを増し花を咲かせるタイミングを今か今かと待ち望んでいたソメイヨシノの花の淡いピンクとのコントラスト、そしてさかえ小学校の校舎が堂々としている姿。今後も、さかえ小の魅力を三鈷松だよりにてたくさん発信してまいります。

